

## 開催趣旨

情報通信技術の革新は私たちの社会を大きく変えてきました。そしてその速度はさらにスピードアップして、AI社会の到来が指摘され人間社会の基本構造の変化が指摘されるようになっていきます。

その一方では、日本をはじめとして先進産業諸国においては社会経済状況の大きな変化、特に人口構造の変化が指摘されてきています。とりわけ日本が直面する急激な人口減少と高齢化は、今後数十年間にわたって適応的な対策の必要性が強く主張されるところであります。

こうした情報技術の革新は、人口減少社会のインパクトに対して、どのような社会の持続可能性を提供できるのでしょうか。現在の技術水準とその社会的な応用は、今後どのような展開が可能となるのか、また急速に進展する技術革新は、どのような社会的対応方法の変化を生み出すのでしょうか。翻って、それらが日本社会の人口減少局面における諸問題に対して、どのような解決方法の採用を可能とするのでしょうか。

第19回京都研究会は、「ITで持続可能にできるか？人口減少社会」をテーマとして、情報通信技術の革新による人口減少社会へのインパクトについて可能な限りでの評価を行い、人口減少が招く諸問題の解決にどのように資することができるのかという観点から検討を進めたいと思います。

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター  
代表理事 新川 達郎

## 研究会

13:30～17:30

### ● 人口減少のインパクトに対する緩和策と適応策を考える

■ 演者：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/  
NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター代表理事）

### ● 人口減少で到来する農山村の未来と生き残るヒント

■ 演者：隅岡 敦史  
（NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター理事）

### ● 人口減少をチャンスに変えるIT活用とその可能性

■ 演者：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/  
株式会社デザイン・クリエイション最高顧問/  
NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

### ● ポケットカルテ最新情報～電子版母子健康手帳のコース～

■ 演者：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/  
NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター顧問）

### ● 【演者を交えた総合討論会】 「ITで持続可能にできるか？人口減少社会」

■ コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/  
NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター代表理事）

■ 登壇者によるパネルディスカッション

※ 演題名は変更の可能性があります。

## 演者を交えたレセプション(分科会)

閉会后～19:00

1階 第二会議室にて開催

主催：特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（SCCJ）

後援：京都府、京都市、京都新聞、ITコンソーシアム京都

お問い合わせ：SCCJ E-mail:info@sccj.com

# ITで持続可能に できるか？人口減少社会

## 第19回京都研究会

<http://www.sccj.com/kk/2017-2018>

# SCCJ

Sustainable Community Center Japan

2018年1月19日(金)  
13時30分～17時30分  
京都市国際交流会館  
イベントホール  
定員220名

※事前申込先着順



## 会場地図



●お申し込み：下記ホームページからお申し込み頂けます。

<http://www.sccj.com/kk/2017-2018> ※事前申込制

●参加費：有料

プラン	対象	対象	
		一般	SCCJ会員 (企業・団体/個人)・学生 および地方公共団体職員の方
研究会のみ参加(13:30～)		1,000円	無料
研究会、分科会すべて参加 (閉会后～19:00)		2,000円	無料

※一般参加費の1,000円とSCCJの個人会員の年会費1,000円は同額ですので、参加費用としてではなく、SCCJ個人会員としてお支払いされることをお奨め致します。